

MUFG 三菱UFJ信託銀行

ご退職者専用プラン
平成28年10月31日(月)まで

元本保証 円定期預金 元入期間3か月 **年3.25%**
ずっと安心プラン 税引後 年2.58%

くわしくはこちらから

新聞購読 お申し込み +500円で、デジタルも

デジタル版 今だけ **500円** (税別)

愛読者セット

デジタル毎日



写真 動画 有料会員向け

毎日新聞社 総合案内 宅配申込 会員メニュー ログアウト

トップ 社会 政治 経済 国際 サイエンス スポーツ オピニオン カルチャー ライフ 教育 地域 English 紙面ビューアー

総合 大盛り北海道 いりやあせ名古屋 めっちゃ関西 オッショイ!九州 首都圏版

[PR] 即日入金/22時迄のお申込み。大手6社一括比較

発信箱

鈍感に運を待つ = 榊原雅晴

他の連載記事はこちら

毎日新聞 2016年10月13日 大阪朝刊

オピニオン コラム めっちゃ関西

[PR]



大隅良典さんが「京都賞」を受賞した4年前にインタビューし、一番印象に残ったのが次の言葉だった。「若い連中にいつも言うんです。あまり早くから偉くなるなよ。定年までに疲れちゃうぞ」。昨今は米国流成果主義とかで優秀な若手は早くから教授になる。すると次から次に業績を求められ、研究資金集めにも忙しい。落ち着

いて研究ができないというのだ。

ご本人が助教授になり自前の研究室を持てたのは43歳と、相当なスロースターター。「小器用に論文を書くタイプではなく、今なら研究室を放り出されていたでしょうね」と振り返った。だがそこでノーベル賞につながる現象を発見した。

物理学者の朝永振一郎博士が日本人で2番目のノーベル賞を受賞したのは1965年、湯川秀樹博士から遅れること16年後だった。両博士は旧制三高、京都大の同級生で、共に将来を嘱望された大秀才。だがライバルが着々と成果を上げる中、自分の仕事は思うように進まない。ももんとしている朝永博士のもとに恩師から届いた手紙にこうあった。「業績が上がるか否かは運です。努力して運を待て」。思わず涙が出たという。

未踏の荒れ野をゆく研究は効率やスピードと相いれない。「じつと運を待つ」のも才能である。

「若いころ、焦りはありませんでしたか？」

ぶしつけな質問に大隅さんは「私にはある種の“鈍感力”があるんですよ」と笑っていた。「右顧左眄(うごさべん)せず運を待つ」必要を理解しているのだ。

NUMO 原子力発電環境整備機構

高レベル放射性廃棄物について考える **地層処分意見交換会**

みんなで考えよう!

2016年10月~11月に 全国9都市で開催します。

毎日新聞のアカウント

RSS

新聞宅配申し込み

デジタル申し込み

デジタル毎日 秋のワンコインキャンペーン

今だけ、お試し **500円** (税別)

Timeline

ピックアップ

- PR 沈没船遺跡から歴史を探る 水中考古学で海のインディアン・ジョーンズに
- PR 患者と医療を守る 「医薬品副作用被害救済制度」とは？

話題の記事

- 車転落 誤発進? 高1と中1 兄妹重体 米子港 / 鳥取
- 日本シリーズ 日本ハム 熱い男、岡大海 仲間を勇気づけ
- 協定 明日香村と星野リゾート 県内初進出 最高級ホテル検討 / 奈良
- プロ野球

アクセスランキング

1時間 1日 1週間 SNS 動画

毎時01分更新

日本シリーズ
日本ハム優勝…10年ぶり3回目